

1. 地域経済と課題

- (1) 金融面の上半期を見ると、昨年度、実質無利子無担保の事業性資金が大量に出たが、今年度はその反動もありほとんど出ていない。しかし、カーローン、住宅ローンはコロナ禍においても堅調である。
- (2) 再生可能エネルギーの投資額が大きい。九電みらいエナジー80 億円、(合)唐津バイオマスエナジー400 億弱、洋上風力発電 2000 億強とも。単なる外部資本による投資ではなく地域産業としての育成が重要。
- (3) 唐津市のコロナと出生数の関係（各年 1 月～9 月）/令和元年 651 人、令和 2 年 662 人、令和 3 年 650 人。コロナの影響は限定的。ただし 10 年前の 2011 年は 866 人でそれと比べると 25%減。影響はずっと続く。
- (4) 昭和自動車の貸切バスの需要が回復してきた。11～12 月は満車。修学旅行やシニアの日帰り旅行などが中心。路線バスは例年の 8 割になったが、唐津～博多は 6 割にとどまっている。
- (5) 半導体不足が唐津でも影響を受けている。住宅で半導体が組み込まれた厨房設備の一部でも欠品すると完成できないなどの例がみられる。
- (6) 商工会議所と観光協会で行ったワクチン職域接種 2, 183 人、18～65 歳 1, 944 人(88%)、技能実習生 91 人。現役世代の接種が進むとともに、異国で働く技能実習生に安心を与える事ができた。

2. 経営相談（巡回・窓口）から見える地域経済と課題

- (1) 7 月から 9 月までの第 2 四半期の巡回指導 249 件、窓口指導 824 件を行った。窓口は前年比 20.8%増。
- (2) 唐津市は、コロナで影響を受けながらも事業継続の意志があり要件を満たす事業者に対し第 2 次中小・小規模企業者事業継続助成金（10 万円）を交付申請中である。業況が厳しいので有難いとの声もある一方で、事業規模に応じた給付が必要との声も聞こえてくる。
- (3) 佐賀県は、要件を満たす対象事業者に対し第 3 次佐賀型中小事業者応援金（法人 20 万・個人 15 万）を交付しており、申請期限は 11/30 までである。対象要件が一部緩和された事で、申請の相談者が増えたようだ。
- (4) インボイス制度「適格請求書等保存方式」つまり正確な仕入税額控除を行うために必要な制度の事業者登録が 10/1 より開始。制度の周知、事務や経費負担増とスムーズに導入されるかが懸念される。
- (5) 創業必要な知識を習得し創業を応援する唐津市創業塾を 11/17 から 12/15 までの各週水曜日、全 5 回にわたり開催予定である。コロナ禍であるが既に定員の 30 名の申込があっている。
- (6) 旧唐津市内の「まん延防止等重点措置」の解除後の飲食店の状況としては、福岡からの来客は少しずつ回復傾向にあるが、一方で市内の客は依然として戻っていない様子。

3. LOBO 調査（毎月）& 景況調査（4 半期毎）

(1) LOBO 調査の概要

10 月の業況 DI は、改善も、依然として厳しさを続ける。先行きは、回復への期待感広がるもコスト増に懸念。

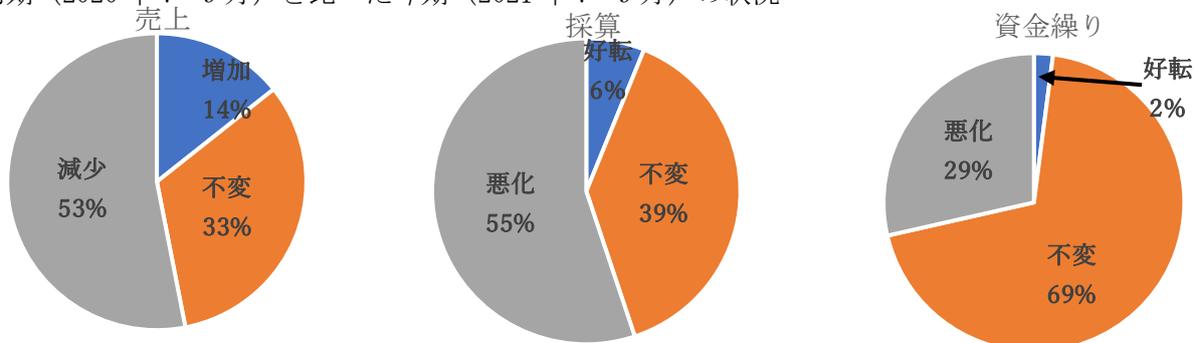
・全産業合計の業況 DI は、▲28.9（前月比+4.3 ポイント）

全国：緊急事態宣言等の解除を受けて、時短要請や行動制限が緩和され、外食・観光関連のサービス業では利用客の増加がみられた。製造業、卸売業では飲食料品や電子部品関連が堅調に推移する一方、半導体不足や東南アジアでの感染拡大を背景とした部品の配給制約による、生産活動への影響が継続している。また、鉄鋼などの原材料費や、原油価格を含む資源価格の上昇、最低賃金引上げに伴う人件費の負担増加など、幅広い業種でコスト増加が足かせとなっており、中小企業の業況改善に向けた動きは厳しさが続く。

九州：10月の業況DIは改善。建設業では、木材や鋼材等の資材価格上昇のほか、東南アジアでの感染拡大に伴う工場停止に起因する給湯器等の住宅設備機器の入荷遅れが指摘されるものの、堅調な公共工事の下支えにより売上が改善。サービス業では、自動車製造業の減産が続く影響で、関連する運送業の荷動きが停滞した一方、緊急事態宣言等の解除に伴い、飲食・宿泊業を中心として低水準ながらも客足が持ち直しつつあり、売上・採算ともに改善。

(2) 景況調査の概況（調査先：市内49事業所）

前年同期（2020年7～9月）と比べて今期（2021年7～9月）の状況



直面している経営上の問題点（各業種の最も多かった問題点）

製造業：需要の停滞 小売業：消費者ニーズの変化への対応 建設業：材料価格の高騰
 サービス業：需要の停滞 卸売業：需要の停滞

→前回同様に5業種中、3業種で「需要の停滞」が挙げられている。依然としてコロナの影響の長期化による購買自粛が影響していると思われる。

4. 唐津の街のトピックス

- (1) 唐津商工会議所副会頭の竹尾啓助氏（株）唐津プレジジョン社長）が旭日単光章を受章。「用うるに利有るものを作り、売るに利有るものを追わず」の理念のもと日本のものづくりを牽引する会社が唐津にあるのは私達の誇りです。
- (2) クリーニング業の経営者の話「ホテルのリネンがさっぱり。」コロナの影響はすぐに思い浮かばないところにも。商工振興に携わる者は幅広く耳を傾ける必要があると思われる。
- (3) 「第55回五福の縁結び市」（10月3日開催）は大賑わい、約2000人の人出。人気の秘密は「パンマルシェ」、100人以上の行列ができるパンやさんも。すべてのパン屋さんが午前中に売り切れ。
- (4) 唐津東高校ではR5.4よりLGBTに配慮して従来の詰襟、セーラー服に加えて、ブレザー制服が選べるようになる。唐津南、厳木高校等は導入済み。こうした対応はどんな分野においても求められるようになる。
- (5) 旧大成小学校が唐津くんち明けから解体工事に入った。工期は来年9月末までの予定。来年の唐津くんちの「御旅所」の曳き込みは松林の間から唐津湾が見えていっそう雰囲気が出そう。
- (6) 旧唐津銀行に4月から指定管理者が導入された。コロナ禍で単純な比較はできないが、昨年度まで利用されていなかった地階が4～9月の間25日間の休館がありながら、33事業61日間の利用である。ユニークな利用としては一歳誕生日会が開かれたり13回の写真撮影（結婚式の前撮り等）が行われている。
- (7) NHK総合「日本の最強の城」に全国7城程度の中で唐津城が取り上げられます。放送は来年元日夜9時～10時。唐津観光の振興の一助になれば幸いです。
- (8) 食の神様を祀ってある伊勢神宮の外宮奉納（代行奉納）にカルネスタが唐津で3件目となる奉納を行った。
- (9) 九州初となるピザの自動販売機を唐津くん煙工房が、駐車場に設置し10/29から販売をスタートした。

唐津商工会議所では、『KCCI 地域経済四季報Eクォーター』を発行します。市内の商工業、街づくりについての情報をお待ちしています。唐津商工会議所 TEL：72-5141 FAX：72-5146 Email：kcci@karatsu.or.jp